

第 1 章

県民交流広場事業

1 事例（ふるさと交流会 2015 出展地区の取組）

1 神戸市垂水区名谷地区（名谷小学校区）

みょうだに

名谷ふれあいのまちづくり協議会

22 年度採択

地域の紹介

当地区は旧5カ村からなる古い歴史と豊かな農村文化を持つ地域と、新たに開発された住宅地が融合された地域です。昔は農家の多い地域でしたが、昭和40年代から宅地化が進み、人口が増加しました。

明石海峡大橋の入り口となる垂水ジャンクションや、垂水を南北につなぐ幹線道路、大規模公園、そして住宅団地の開発により、かつての風景は大きく変わりました。

一方で神社・仏閣などの歴史的な建造物も点在し、伝統的な文化・芸能が今日まで残っています。

活動内容

■持続的な活動

- ・米作り体験教室、昔の農具に触れる体験学習
- ・しめ縄、わら・布草履、かかし作り教室
- ・火おこし体験、七輪体験
- ・昔の遊び体験教室
- ・昔のお話を聞く会
- ・四季を楽しむ料理体験
- ・古農具の収集、整理、展示
- ・茶道教室、華道教室



【かかし作り教室】



【茶道教室】

これまでの成果と今後の展開

[成果] ・事業を機に、各種団体が一つになって活動を行うことによって、団体間の連携が深まった
・「かかしウォーク・歴史散策」の中では、隣接する小学校と協力し、地域の神社仏閣、川などの歴史的説明をするなど、地域の歴史や文化をテーマにすることで、子どもたちが「ふるさと」として地域への愛着を深め、他地域にも名谷の魅力を発信できた

[展開] ・茶道や華道教室、みそ作りに力を入れ、伝統文化の大切さ・良さを知ってもらいたい

名谷ふれあいのまちづくり協議会



拠点施設：「市立名谷小学校」「市立名谷地域福祉センター」

主な整備内容：改修

- 空き教室を改修し、古農具等の展示室兼活動コーナーを設置
- 天井、壁、床、窓、扉の全面改修と既存設備の解体撤去
- 資料展示用のライト、ピクチャーレール、掲示壁の設置
- ミニキッチン、空調機、照明の設置 など

1 事例（ふるさと交流会 2015 出展地区の取組）

2 神戸市須磨区若草地区（若草小学校区）

わかくさ

若草ふれあいのまちづくり協議会

22 年度採択

地域の紹介

若草地区は神戸市須磨区の北部に位置し、坂道が多い住宅地です。昔からの住宅地と、30 数年前に開発され現在は人口増がない地区と、新たにマンションができ人口が増加している地区とが混在しています。

地域の歴史は古く、千数百年前にまでさかのぼり、646 年に創建されたといわれる翁舞で有名な「車大歳神社」があります。

現在は小学校・中学校とも児童・生徒数が減少傾向にあり、少子高齢化が懸念されています。

活動内容

■世代間交流

- ・ふれあい喫茶
- ・昔遊び
- ・高齢者の食事会

■子育て支援教室

- ・親子のふれあい喫茶
- ・親子映画会
- ・ケーキづくり
- ・親子フラ
- ・子育て相談会



【親子フラ】



【世代間交流ふれあい喫茶】

これまでの成果と今後の展開

【成果】 ・事業開始時(平成 22 年度)は、65 歳以上の高齢者の割合が 21%と高く、高齢者支援及び世代間交流や子育て支援等が急務であったが、誰でも参加できる「世代間交流ふれあい喫茶」、「高齢者の食事会」、「親子フラ」、「親子ふれあい喫茶」等を通じて、それぞれの支援を図り、一定の成果が得られた

【展開】 ・ますます高齢化する一人暮らしの方々などの支援を継続していく
・大人になった子どもたちが、子ども時代を懐かしく思い出せる“まち”にするための活動（昔遊びなど）を継続し、より積極的に展開していきたい

若草ふれあいのまちづくり協議会



拠点施設：「市立若草地域福祉センター」

主な整備内容：改修

○調理コーナー改修（システム・アイランドキッチン新設）

○1、2階トイレの改修

○和室の畳替え

○空調機、クローゼット、暗幕の新設

1 事例（ふるさと交流会 2015 出展地区の取組）

3 西宮市鳴尾地区（鳴尾小学校区） なるおにし 県民交流広場鳴尾西校区推進委員会

24 年度採択

地域の紹介

鳴尾地区は阪神間の住みやすい住環境に加え、武庫川女子大学や兵庫医科大学といった大学、大型商業施設などもあり、従来の戸建て居住者の中に、集合住宅の新居住者や女子大学生が増えています。

地区内には阪神甲子園球場がある他、安土桃山時代の水争いにまつわる「鳴尾義民（なるおぎみん）」のお話でも有名です。

活動内容

■持続的な活動

- ・防犯交流パトロール
- ・鳴尾の旧蹟・勉強会
- ・茶道教室（武者小路千家立礼式）

■地域の学校支援事業（各教室月1回）

- ・子どもそろばん教室
- ・子ども将棋教室
- ・子ども音楽教室

【防犯交流パトロール】



【鳴尾の旧蹟・勉強会】



【子どもそろばん教室】

【ふるさと交流会 2015】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・新しく旧蹟勉強会の取り組みを始めるなど、3つの人材育成事業（防犯交流パトロール・鳴尾の旧蹟勉強会・茶道教室）、3つの学校支援事業（そろばん・将棋・音楽教室）の活動を行い、活動の回数や参加者を増やすことができた
- 【展開】
- ・人材育成事業、学校支援事業は継続的に実施し、新たに小学生を対象にした「大東流合気柔術」教室の開設を予定
 - ・保護者からの要望を受け、留守家族児童育成センターにおける4年生を対象とした放課後の受け入れを予定

県民交流広場鳴尾西地区推進委員会



拠点施設：「県民交流広場（鳴尾小学校体育館下ピロティ）」

主な整備内容：新築

- 鳴尾小学校体育館下ピロティ部分に増築
- 会議室の設置
- 冷暖房等の電源確保のための工事
- 備品購入

4 宝塚市西谷地区（西谷小学校区）

宝塚市西谷地区にしたにまちづくり協議会

17 年度採択

地域の紹介

西谷地区は宝塚市の北部、標高 400m 前後の山々に囲まれて、昔ながらの田畑、ため池が残る農村地域です。地区内には兵庫県内最大規模の湿原群である「丸山湿原」をはじめ貴重な自然環境が残り、今では希少となった動植物が息づいています。

平成 29 年には現在整備中の新名神の開通に伴い、地域外からの交通量も増え、地区の状況が大きく変わることが予想されています。

このような地域において、豊かな自然と古くから脈々と守り継がれている伝統文化を大切に、「自然と共生する快適なふれあいの里づくり」を目指して活動しています。

活動内容

■都市部との交流

西谷ふるさと祭り

■持続的な活動

- ・人権啓発「心のふれあう市民の集い」
- ・美術作品展
- ・福祉相談
- ・環境問題
- ・防災のつどい
- ・外出支援
- ・教育に関する講演会、講座

■多彩な活動

- ・文化研修部会による学習会（歴史散歩）・西谷検定
- ・まちづくりに関する全住民意識調査
- ・環境部会による丸山湿原ガイド養成
- ・地元NPO等（NPO法人宝塚西谷、丸山湿原保全の会）との連携



【ふるさと祭り】



【西谷ふれあい夢プラザ
展示ギャラリー】

これまでの成果と今後の展開

- [成果] ・事業を機に、地域・世代を超えた交流の場ができ、継続的に活動する事業が生まれた
- ・さらに継続的に活動することで、ボランティアや後継者の育成に繋がっている
- [展開] ・平成 29 年には新名神の開通により、地域内にスマートインターチェンジが整備されることで地域外との交流も活発になることが予想される
- ・地域の変化にも柔軟に対応しながら、少子高齢化の状況を意識しつつ、受け継がれた豊かな自然と経験豊富な多くの人材を活かし、伝統的な仕組みを組み込んだ西谷でしかできない地域づくりをめざす

宝塚市西谷地区まちづくり協議会



拠点施設：「地域交流会館（市立西谷ふれあい夢プラザ）」

主な整備内容：改修

- 拠点施設（古民家）の改修
- 事務機能の充実
- 備品整備

5 加古川市野口中地区（野口小学校区）
のぐちなか
野口中地区まちづくり協議会

23 年度採択

地域の紹介

野口町は加古川市の中心部に位置し、加古川町、平岡町に次ぐ3番目に大きな地域です。公共交通網に比較的恵まれており、近隣都市からの転入者も多く、昭和40年代から団地開発が進んだこともあり、新住民が大多数を占めています。一方で高齢化も進み、現在では若者の街から高齢者の街になりつつあります。

このような現状を克服し、長寿・健康、安全・安心のまちづくりには、高齢者の健康維持や青少年の居場所づくり、新旧住民・世代間の交流が欠かせません。また、防災・防犯対策を進め地域住民が安心して暮らせるまちづくりにも取り組んでいます。

活動内容

■防災・防犯事業

- ・振り込め詐欺や訪問販売等の被害防止講習会
- ・小学1年生を対象とした自転車運転免許教室
- ・自主防災組織担当者の防災講習会
- ・子どもを守る110番の家訪問活動



【自転車運転免許教室】

■世代間交流事業

- ・幼稚園児等を対象としたもちつき大会
- ・若い世代に伝える料理教室



【もちつき大会】

■青少年育成事業

- ・子どもたちが企画・運営するチャレンジチャンスクラブ活動

■まちづくりリーダー養成事業

■生涯学習事業（高齢者パソコン教室・囲碁将棋クラブ）

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・小学校単位のまちづくりを目的にした活動がなかっただけに、当初は試行錯誤の連続だったが5年を経て校区全体に目配り、気配りができる活動になった
 - ・“企画運営委員会”の立ち上げにより新たな活動が生まれている
- [展開]
- ・これまでの成果を生かし、子どもたちが誇りに思える野口町を目指して活動を続けていく
 - ・資金面で自立できる活動へと進化させていきたい

野口中地区まちづくり協議会



拠点施設：「駅家（うまや）の里」

主な整備内容：新築

- 太陽光発電設備とエコ対策
- 防犯設備（防犯カメラの設置含む）
- いす・机・音響設備
- その他備品整備



6 加西市富田地区（富田小学校区）
とみた
富田まちづくり協議会

18 年度採択

地域の紹介

富田地区は、緑の山に囲まれた自然の豊かな地域です。美味しい米の生産地でそのほとんどが集落ごとの営農組織が農業を守っています。市街地まで3~4kmと利便性は良いのですが、近隣に大手企業等が少なく、若い世代が地区外に出ていく傾向が強く高齢化が急速に進んでいます。発足以来10年が経過、「受け継ごう 豊かな自然 ふれあう心」をテーマに世代間交流に取り組み、少しでも地域住民が元気で明るく活力のある地域づくりに取り組んでいます。

活動内容

- コミュニティビジネスを目指して
手作り無添加味噌の製造販売
→平成27年度より一般販売開始



【味噌造り】

■持続的な活動

- ・夏まつり（7月）
- ・広報誌発行（年6回）
- ・キムチづくり（12月）
- ・花壇植栽管理（通年）
- ・3世代交流グラウンドゴルフ大会（10月）
- ・もちつき大会（12月）
- ・みそ用青大豆の栽培（7月~11月）



【夏祭り】

これまでの成果と今後の展開

- [成果] ・活動は青大豆を使った味噌造りに始まり、夏祭りや三世代交流グラウンドゴルフ大会、餅つき大会等を実施、10年を経て地域住民が交流できる活動へと展開をつづけている
- ・活動の展開に伴って参加者は年々多くなり、地域への定着や交流の広がりができた
- ・当初から継続している味噌造りは27年に一般販売を開始した
- [展開] ・味噌造りについて、28年9月から市の学校給食での採用が決定し認知度も高まっているため、今後の生産体制、什器備品を充実させていく
- ・各事業を推進していく人材の確保とともに事業内容の充実をはかり、明るく元気で住み良い地域づくりを目指す

富田まちづくり協議会



拠点施設：「富田まちづくり交流広場・多目的倉庫」

主な整備内容：改修

○JA支店跡用地買収（2,000㎡）

倉庫改修（鉄骨平家建て283㎡）

交流広場改修

○味噌造り施設の什器備品の整備他

7 姫路市御国野地区（御国野小学校区）
みくにの
御国野地域推進委員会

21 年度採択

地域の紹介

御国野地区はいぶし銀の深志野瓦の産地でしたが、衰退してしまいました。現在は製パン業、製麺業の中堅企業やボールペン用インクで高シェアを誇る色素製造業の企業があり、40 年ほど前から新規住宅開発が進み、県営住宅をはじめ、戸建ての住宅も増え、いわゆる新住民の比率は半数を超えていて新旧住民の融合が課題です。

地区内には壇場山古墳や播磨国分寺、黒田家廟所など史跡が多くあり、大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映時には官兵衛ブームで大変盛り上がりしました。

活動内容

■ “官兵衛まつり”

大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映に併せて、郷土の偉人官兵衛にちなんで“官兵衛まつり”を展開

- ・花まつり
- ・オペラの楽しみ
- ・獅子舞大会
- ・芸能大会
- ・納涼コンサート
- ・歴史ウォーク
- ・歴史探訪
- ・寸劇「官兵衛・てる姫婚礼の儀」



【官兵衛・てる姫婚礼の儀】

■ その他多彩な活動

歩こう会、ゲートボール大会、スポーツ大会、そばまつりなど、多彩な行事を地域内の各種団体と連携して開催



【そばまつり in 市川交流メッセ】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・「軍師官兵衛」放映に呼応して、郷土の偉人黒田官兵衛を軸に“官兵衛まつり”を実施、多くの住民参加を得て、活動は大いに活発化した
 - ・官兵衛プロジェクト友の会、官兵衛そば愛好会、シニアボランティアガイドクラブ、郷土歴史研究会なども組織化され、参画と協働の基盤が築かれた
- [展開]
- ・地域内の各種団体や教育機関、事業所等とも協働しながら、さらに多くの住民参加を得て、地域課題の解決につなげていく
 - ・安全・安心、明るく楽しい、文化の香りが漂う“住んでよかったまちづくり”に取り組んでいきたい

御国野地域推進委員会



拠点施設：「姫路市立御国野公民館」

主な整備内容：改修

○調理室・会議室の改修

○1階の一部に掲示板と展示コーナーを設置

○地域の景観に配慮した収納庫の設置

8 佐用町江川地区（江川小学校区）
えかわ
江川地域づくり協議会

20 年度採択

地域の紹介

江川地区は県西部に位置し、岡山県北東部に隣接しています。中山間地域で小規模農業が中心ですが、高齢化率が41%となるなど少子高齢化が進み、耕作放棄田や空き家が増加しつつあります。

平成26年4月に江川小学校が閉校となり、同時に江川保育園も統合され、公的機関は特定郵便局のみとなりました。公共交通に関しては、路線バスが平成21年10月末で休止となり、公共の交通手段が一切ない状態になりました。そこで現在、電話予約の受付から運転まで地域住民の手による、地域デマンド交通「江川ふれあい号」を運行し、高齢者等の足として、地域にとってなくてはならないものになっています。

活動内容

■コミュニティビジネス

江川栗の再生の試み、焼き栗を実演販売

■都市部との交流

- ・阪神地区の栄養関係の大学と食育研究
- ・集落単位で企業との交流
- ・農村ボランティア交流

■持続的な活動

- ・地域デマンド交通「江川ふれあい号」の運営（平成22年実証運行、平成24年から本格運行）
- ・「陰陽師の里江川」七夕行列、ふるさと祭りなどのイベント
- ・ふれあい喫茶「ほっとえかわ」（月2回、約40名が参加）



【七夕行列】



【ふれあい号】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・「陰陽師の里江川コスプレ大会」の開催を契機に、県内はもとより東京や大阪など都市部からの参加者が増え、地域活性化の一助となり、江川地域の魅力を発信できた
 - ・様々なイベントで実演販売を行っている焼き栗は、とても好評を得ており、収益も上がっているとともに、江川地域の名産として定着してきた
 - ・拠点施設はデマンド交通「江川ふれあい号」の拠点であることから、毎日開放しており、人が集う場となっている
- 【展開】
- ・さらに地域外他都市部等との交流を深めることで、地域力の強化を図りたい

江川地域づくり協議会



拠点施設：「兵庫西農業協同組合旧江川支店」

主な整備内容：改修

- J A支店跡の店舗部分を改修し、多目的ホールを設置
- 高齢者等も使いやすいよう車椅子対応トイレの増設
- 備品購入（パイプいす、折りたたみ机など）

9 養父市養父地区（養父小学校区）
やぶ
養父校区自治協議会

22 年度採択

地域の紹介

古くから農業・畜産業・養蚕が盛んな地域で、特に昭和 30 年頃までは、農家が牛を家族同様に飼育していました。専業農家・畜産農家が多い地域でしたが、近年は兼業農家数が専業農家数を上回るようになり、後継者づくりが課題となっています。

また、昭和 60 年頃をピークに人口は減少傾向となり少子高齢化が進んでいます。特に若い世代は学校を卒業すると地区外に出て行く傾向にあり、集落機能の維持が課題です。

「地域づくりは地域の手で」を合言葉に、子どもからお年寄りまで、安心して住める「やぶ」をめざしていきたいと思います。

活動内容

■コミュニティビジネス

写真展や陶芸教室作品展などを実施、あわせて期間中に 100 円喫茶を開催

■エリア内の集落支援事業に基づき助成

- ・各地区公民館や集会施設の修繕工事及び備品整備、里道水道の補修、公園整備、消火栓機器の更新、募債資材の整備を助成
- ・環境保全事業、賑わいイベント事業を助成

■生涯学習活動、子育て活動

各種教室、イベント等を実施



【陶芸教室】



【高齢者と幼稚園児とのミニ運動会】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・事業を機に、拠点施設の整備が進み、その後も補助制度を活用しながら整備が完了した
 - ・当自治協議会の生涯学習をはじめ、校区内のサークル活動の場所として、拠点施設が多くの方に利用されるようになった
- [展開]
- ・活動内容のマンネリ化の解消と活動リーダーの後継者育成は、重要且つ喫緊の課題となっているため、課題解決に向け活動の展開に取り組んでいきたい

養父校区自治協議会



拠点施設：「ふれあいセンターやぶ（旧養父保育所）」

主な整備内容：改修

- 保育室を事務室、多目的ホール、会議室、和室、調理実習室、交流ホール、図書コーナー、倉庫等に改修
- トイレを改修、バリアフリー化、空調設備・照明設備の改修
- 屋外広場を駐車場に改修（芝生化） など

10 新温泉町久斗山地区（浜坂東小学校区）
くとやま
久斗山農産加工組合

16 年度採択

地域の紹介

当地区は古くは砂鉄取りがなされ、木炭生産とタタラ製鉄が盛んに行われた地域です。中山間地域で不便な点もあり、戸数・人口ともに減少して、少子高齢化が進んでいます。

地区内にある大杉神社には樹齢 800 年の県天然記念物の大ヒノキがあり、地域のご神木として大切にされています。

久斗山地区は栃の実、ヤマブキ、さんしょう、タケノコ、葉わさびなど多くの農産物に恵まれていますので、久斗山小学校の校舎を利用した県民交流広場で農産加工品等を製造し、集落活性化に取り組んでいます。

活動内容

■コミュニティビジネス

栃もち、ふき佃煮、さんしょう佃煮などを生産し、神戸や道の駅などに出荷

■都市部との交流

年 1 回交流イベントを実施

■持続的な活動

- ・高齢者と子どもの交流
- ・運動会、文化祭の開催

■体験教室

もちつき体験教室、草木染め体験教室の受け入れ



【もちつき体験教室】



【創造の森まつり 丸太切競争】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・事業を機に、旧久斗山小学校を加工施設等に整備し、栃もちなど、地元の農産物を使った商品を生産・販売して、とても好評を得ている
 - ・都市と農村の交流イベントを継続実施しており、丸太切競争といった農山村ならではのイベントを通して交流人口の増加を図ることができた
- 【展開】
- ・地域性を活かしたプログラムを展開し、コミュニティビジネスとして未来につながるように活動を進めていきたい

久斗山農産加工組合



拠点施設：「久斗山コミュニティセンター『おおすぎの館』」

主な整備内容：改修

- 廃校となった校舎を改修
- 交流室の改修
- 惣菜製造室、菓子製造室の改修
- 備品整備

11 朝来市与布土地区（与布土小学校区）
よふど
与布土地域自治協議会

19 年度採択

地域の紹介

古くから農業の盛んな地域であり、主に米の生産を行っています。高齢化が進むと同時に兼業農家の担い手がいなくなり、専業農家に米作りを委託する農家が増えてきました。

地区内にある玉林寺や八幡神社では、古くからこどもまつりやこども相撲が行われ、地区の賑わいを見せていましたが、祭りの担い手の高齢化や少子化により継続が危ぶまれています。

与布土地域自治協議会では6つの事業部会を設置し、いつまでも安全・安心な住みやすい与布土づくり、そして、元気で魅力ある与布土づくりを目指し活動しています。

活動内容

■コミュニティビジネス

- ・古民家を活用した農家レストランの運営
- ・地域の米や加工品を道の駅などで販売



【農家レストランにて「ほたるの夕べ」ミニコンサートを開催】

■都市部との交流

- ・企業連携交流として農業体験、自然観察などを実施
- ・神戸市東灘区の協議会と地区運動会や地域イベントへの参加により交流



【都市農村交流 田植体験】

■持続的な活動

生きもの調査、自然観察会、体験農場の管理運営、盆踊り、ふるさとお花見会、地区大運動会、グラウンドゴルフ大会

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・拠点施設を中心として、子どものわくわくキャンプから高齢者の健康体操まで、幅広い世代でのコミュニティ活動を展開することができている
 - ・都市農村交流活動の拠点としても活用など、さらに地域を越えた交流の場になっている
- [展開]
- ・高齢社会への対応を視野に入れた地域福祉コミュニティを構築し、子育て支援から元気高齢者の生活支援の場としてさらに広く活用の幅を広げていきたい
 - ・拠点施設を地域コミュニティの中心ステーションとして活用していく

与布土地域自治協議会



拠点施設：「与布土地区コミュニティセンター
朝来市高齢者共同生活の家」

主な整備内容：改修

○交流サロンを設置

○パソコン講座開催や情報発信のための LAN 設置

○備品購入 ○ミニキッチン、空調機、照明の設置 など